

令和7年 業種別労働災害発生状況

(令和7年12月末現在/未確定(速報値))

帯広労働基準監督署

区分 業種別	令和7年(12月末)			令和6年同期			対前年		本年分 業種 割合 (%)	
	死 亡	休業 4日 以上	合 計	死 亡	休業 4日 以上	合 計	増 減 数	増減率 (%)		
全産業合計	8 (1)	457 (22)	465 (23)	6	504 (17)	510 (17)	-45	-8.8	100.0	
除く鉱業計	8 (1)	457 (22)	465 (23)	6	504 (17)	510 (17)	-45	-8.8	100.0	
製造業	1	74 (1)	75 (1)	1	78 (2)	79 (2)	-4	-5.1	16.1	
内訳	食料品	1	38	39	48	48	-9	-18.8	8.4	
	木材木製品		6	6	13	13	-7	-53.8	1.3	
	紙・パルプ									
	窯業・土石				1	1	-1			
	金属・機械		13	13	8	8	5	62.5	2.8	
	その他		17 (1)	17 (1)	1	8 (2)	9 (2)	8	88.9	3.7
	鉱業									
	土石採取業		5	5	5	5			1.1	
	建設業	4	50 (3)	54 (3)	2	56	58	-4	-6.9	11.6
内訳	土木工事業	3	14 (1)	17 (1)	2	21	23	-6	-26.1	3.7
	建築工事業	1	15 (1)	16 (1)		15	15	1	6.7	3.4
	木造建築業		3	3		8	8	-5	-62.5	0.6
	その他		18 (1)	18 (1)		12	12	6	50.0	3.9
	道路貨物運送業		51 (7)	51 (7)	1	52 (6)	53 (6)	-2	-3.8	11.0
	その他の運輸業	1 (1)	7 (1)	8 (2)		4 (1)	4 (1)	4	100.0	1.7
	陸上貨物取扱業		2	2				2		0.4
	港湾荷役業		2	2		1	1	1	100.0	0.4
	林業	1	9	10		17	17	-7	-41.2	2.2
	漁業		5	5				5		1.1
	卸売・小売業		53	53		61 (1)	61 (1)	-8	-13.1	11.4
	清掃業	1	17	18		25 (3)	25 (3)	-7	-28.0	3.9
	その他の事業		182 (10)	182 (10)	2	205 (4)	207 (4)	-25	-12.1	39.1
内訳	農業		11	11		23	23	-12	-52.2	2.4
	畜産業		50	50	1	32	33	17	51.5	10.8
	接客娯楽業		20	20	1	32	33	-13	-39.4	4.3
	農業協同組合		12	12		12	12			2.6
	その他		89 (10)	89 (10)		106 (4)	106 (4)	-17	-16.0	19.1

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものです。

()内は、交通事故内数です。

令和7年 死亡災害発生状況

帯広労働基準監督署

発生月	時刻	業種	事型故の	起因物	災害の状況
2月	9時	建築工事業	墜以2 落上メ ・か 転らト 落のル	開口部	食料品製造工場の新築工事現場の天井裏で、被災者は天井断熱パネルの吊り具の点検作業を行っていたが、ブルーシート養生が施された開口部（地上高さ5.8m）の真下の床面に倒れている状態で発見されたもの。
2月	13時	その他の業	墜未2 落満メ ・か 転らト 落のル	移動式クレーン	被災者は、会社の土場で移動式クレーン（クレーン付きトラック）に積もった雪を除雪する作業に従事していたが、荷台とアウトリガーの間にはさまたった状態で発見されたもの。
2月	10時	林業	激突され	立木等	私有林において、被災者はチェーンソーで立木の伐倒作業を行っていたが、伐根直径約50cmの立木を伐倒した際に、当該立木が縦に裂け、裂けた元玉部分が側にいた被災者に激突したもの。
5月	8時	土木工事業	その他の転倒	積込地み・用運機搬機	建築工事の基礎工事で、被災者はブル・ドーザーによる盛土の敷き均し作業を行っていたが、ブル・ドーザーを停止させ、履帶の上に立ち姿勢を変えたところ、ブル・ドーザーが前進したため、履帶上で転倒し、地面に墜落したもの。
6月	13時	と清畜掃業・	巻はきさままれれ	動力伝導機	被災者は、観覧車の点検台（地上から目測10メートル）の上で、観覧車を運転した状態で、動力を受ける内輪に注油作業をしていたところ、動力を伝達する歯車と内輪との間に左肩から左胸を挟まれ、死亡したもの。
8月	11時	土木工事業	墜以2 落上メ ・か 転らト 落のル	締固め用機	被災者は、乗用のローラーを運転し、道幅約4メートルの砂利道の転圧作業を行っていたところ、砂利道の路肩からローラーごと転落し、約3.4メートル下の川まで投げ出されたもの。
10月	不明	製造食料品業	おぼれ	水	被災者は、溜池に浮く藻を除去する作業を行っていたところ、溜池に浮かんでいる状態で発見されたもの。
10月	22時	道路旅客運送業	～交道通路事故	スルバ車イクバ	被災者は、タクシーの運転中に、東方向に走行し青信号の交差点を直進しようとしたところ、北方向に走行し赤信号の交差点に進入した乗用車に車両の右側面を衝突されたもの。

本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。